

プラチナ展望

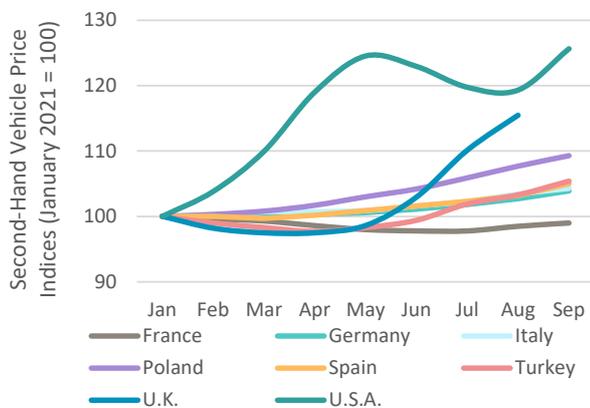
プラチナのリサイクル供給の減少が、半導体不足による自動車のプラチナ需要減少を補う可能性

自動車の減産と販売減の原因となっている世界の半導体不足問題は廃車処理にも影響を及ぼし、それがリサイクルからのプラチナ供給の減少につながっている。しかしそれは一方で半導体不足に端を発している自動車のプラチナ需要減を部分的に相殺しているのである。

半導体不足が新車生産に及ぼしている影響に関しては様々な論点があり、そのために市場関係者の生産予測数値には非常に大きな隔たりがある。しかし無視できないのは新車不足が中古車市場に及ぼしている影響で、価格上昇、販売台数の増加、そして在庫の減少から中古車需要が高まっている点である。そしてこれは消費者が車を買換えずに廃車にするまでの期間が長くなり、自動車触媒装置のリサイクル回収量が減っているという現状につながっている（2 ページの図を参照）。従って新車の減産で自動車の PGM 需要が減っているが、それは自動車触媒装置のリサイクル供給も減っているために部分的に補完されることになるだろう。

プラチナ展望 9 月号において、2021 年の世界の自動車総生産（大型車と普通乗用車の合算）はさらに 340 万台減って 8200 万台になり、プラチナ需要は 100 万台の減産毎に 1.1 トン減って自動車のプラチナ需要は全体で 3.6 トンの減少になると予測した。

新車の減産を受けて中古車価格は上昇している



資料: WPIC リサーチ, Indicata, イギリス国家統計局, Manheim, ブルームバーク

しかし、新車が 340 万台減ということは、約同数の車がそのまま使われ廃車されないことになる。我々はリサイクル供給の減少は 100 万台につき 0.7 トンで全体では 2.3 トンであると推測している。即ち半導体不足が需給バランスにもたらす影響はネットで 100 万台につき 0.4 トンとなり、全体では僅かながら 1.4 トンの供給過剰（総需要の 1%以下）となる。ジョンソン・マッセイ社の 2021 年度のパラジウムの予測値を使うと、同様の数値は 100 万台につき 1.4 トンで、パラジウムはネットで 4.9 トンの不足となる。

これまでの我々のシナリオは消費者の新車需要は変わらず、抑えられていた需要に対応するため自動車生産は早々に上向くという予測であった。これが正しければ廃車の数も同様に増えるはずである。しかしリサイクル処理能力の限界が足枷となり市場に供給として戻されるプラチナは増えないため、廃車によるリサイクル供給は増加しないだろう。

廃車が減ってプラチナのリサイクル供給が減り、自動車のプラチナ需要の減少を実質的に相殺している

		2021F
Vehicle production - starting estimate	M	85.4
Downside scenario	M	82.0
Change in production	M	3.4
Change in platinum automotive demand	koz	-116
- Platinum demand Change per million vehicles	koz/M	-34
Change in palladium automotive demand	koz	-361
- Palladium demand change per million vehicles	koz/M	-105
Expected scrappage volume	M	54.3
Change in scrappage volume	M	3.4
Reduction to platinum recycling supply	koz	73
- Platinum recycling change per million vehicles	koz/M	21
Reduction to palladium recycling supply	koz	204
- Palladium recycling change per million vehicles	koz/M	59
Net platinum change per million vehicles	koz/M	-13
Net palladium change per million vehicles	koz/M	-46

資料: メタルズフォーカス, LMC Automotive, ジョンソン・マッセイ, フィッチ・ソリューションズ, WIPIC リサーチ

需要があっても新車がないため消費者は車を乗り換えず、廃車が減って自動車触媒装置のリサイクルが減少している。新車が 340 万台減ったことで廃車までの期間は世界で約 2 週間延びている。自動車のリサイクル供給の伸び悩みが自動車のプラチナ需要減を和らげ、ひいては我々が予測した 3.6 トンというプラチナ供給過剰量は 1.4 トンに下がる可能性がある。

2021 年 10 月

World Platinum Investment Council
www.platinuminvestment.com
Foxglove House, 166 Piccadilly
London W1J 9EF

Trevor Raymond
Director of Research
+44 203 696 8772
traymond@platinuminvestment.com

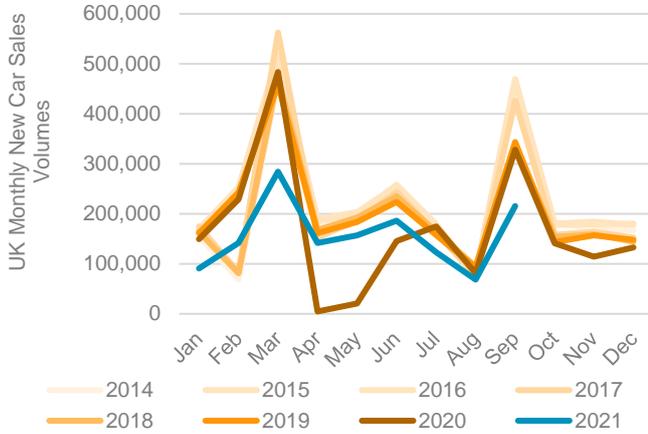
Edward Sterck
Analyst, Research
+44 203 696 8786
esterck@platinuminvestment.com

Brendan Clifford
Head of Institutional Distribution
+44 203 696 8778
bclifford@platinuminvestment.com

投資資産としてのプラチナの魅力:

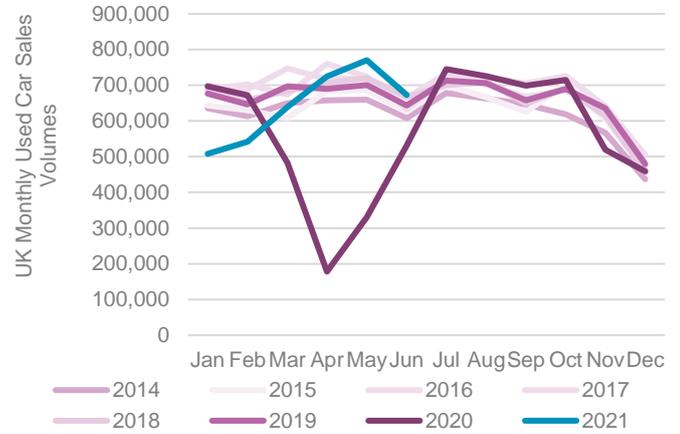
- 新たな金属鉱山への投資にもかかわらず、向こう3年間の供給は大幅に制限されている。
- プラチナ価格は金との比較では過去最低価格に近い。パラジウムとの比較では史上最低レベルにある。
- 自動車の PGM 需要は排ガス規制の厳格化により今後も成長。
- プラチナとパラジウム市場の需給バランスと価格のミスマッチがプラチナへの代替を加速。
- 機関投資家需要は2年連続の歴史的な高水準から若干弱まっているが価格とファンダメンタルズは依然として良好

図 1: 新車の供給が減っていることで...



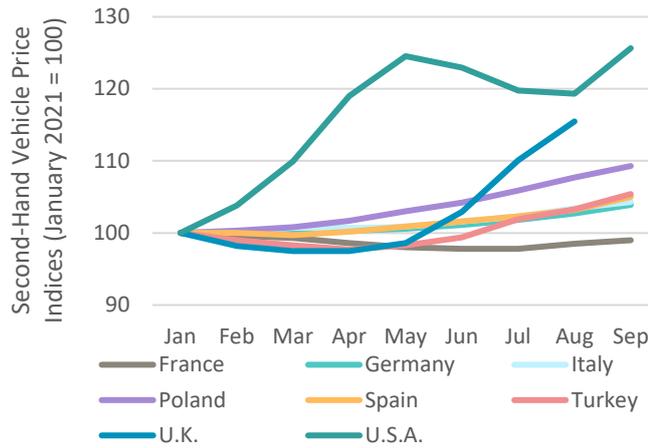
資料: 英自動車製造販売協会

図 2: ...中古車需要を押し上げ...



資料: 英自動車製造販売協会

図 3: ...中古車価格を上昇させている



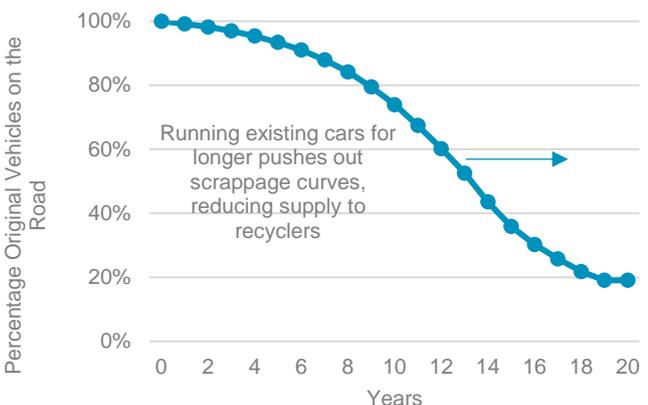
資料: WPIC リサーチ, Indicata, イギリス国家統計局, Manheim, ブルームバーグ

図 4: 結果、中古車は次々と売れ、在庫が減っている



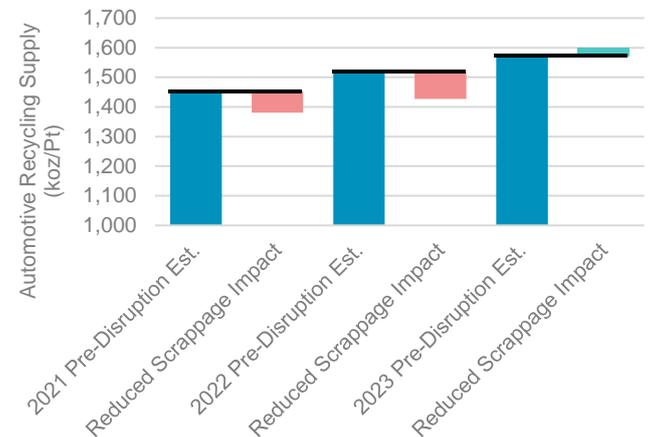
資料: カーグルズ

図 5: 340万台の車が買い換えられないことで、廃車される期間が約2週間伸びているという予測が...



資料: WPIC リサーチ

図 6: ...2021年の自動車触媒のリサイクルによるプラチナの供給が2.3トン減ることにつながるだろう



資料: メタルズフォーカス, WPIC リサーチ

免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime 及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われたい。

WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下 WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。